

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2024年3月8日

事業所名:JSS水夢北神戸

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分に確保できている	はい(20名) ・部屋は十分広く満足しています。	今後も十分なスペースが確保出来るように努める
	2 職員の適切な配置	配置できている	はい(19名)／分からない(1名)	適切な人員配置を行う
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設の構造上階段もありバリアフリー化はできていないが段差のある所は職員が着くなどし視覚的に本児に分かりやすく環境を整えている	はい(20名)	今後も安全確保に努める
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	掃除、消毒を行い落ち着けるように色などの情報は少なくしている。活動に応じて伸び伸びと動けるスペースを確保できている	はい(20名) ・子どもが心地よく過ごせるようにいつも清潔にしてもらっている。	事業所名が2階にあることや事業所内に階段がある構造に対し必要に応じて職員が補助するなどの対応を行っていく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日頃から全職員でミーティングに参加している		PDCAサイクルに基づき業務改善を行う
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	行っていない		本社関係者の巡回により改善点の検討を行っている
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月一回職員研修を実施している		職員資質向上の為の研修を実施していく
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	日々の療育、保護者や関係機関との情報共有の中で判明したニーズや課題、検査結果をスタッフ全員で共有し、客観的な立場で支援計画を作成している。		今後も、保護者や関係機関との情報共有を積極的に行い、客観的な立場での支援計画作成に役立てる
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子ども一人一人に合わせて、個別課題や集団でのルール遊びを取り入れた支援計画を作成している	はい(20名) ・成長とともに変化する困り事にもその都度対応してくれる。	様々な経験、体験から子ども一人ひとりに合った支援方法を見つけていく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画書には、長期・短期の具体的な目標を設定し、必要な支援内容と支援結果を記載している。		保護者とのアセスメントを行い、子ども一人ひとりに合わせた支援計画を作成していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画内容をミーティングで伝えてから療育を行っている	はい(20名)	支援計画に沿った支援ができるよう職員間での情報共有に努める
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員と話し合いながら立案している		支援計画に沿った支援ができるよう職員間での情報共有に努める
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	受け入れの際、保護者に子どもの様子や変化がなかったかなどを確認するようにしている	はい(19名)／分からない(1名) ・身体を動かすことや椅子に座っての課題など、様々な活動をしてきている。	保護者との情報共有や子どもの様子、変化を職員が小さなことでも見落とさないように努める
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子ども達が楽しめるよう「今日は何をするのかな」とワクワクするような内容を考えている		固定化にならないよう子ども、職員が楽しめるような内容に努める
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	療育前、全職員で必ずミーティング時に確認を行っている		全職員で必ずミーティングの中で、情報共有を行う
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	療育後、全職員で必ずミーティングを行い情報共有している		全職員で必ずミーティングの中で、情報共有を行う
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	ミーティングを行う際に必ず紙とパソコンの両方に記録を行い話し合っている		子どもの様子や保護者からの情報を記録し支援に繋げる
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	保護者とモニタリングを行い見直し等はないかを確認している		モニタリングを行い支援計画に繋げていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談支援事業所を利用している利用者が少ないが必要に応じて関係機関との連携を担当者が出席している		今後子どもの状況を把握し担当者が参画する
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者に確認の上必要に応じて就園、転園、就学の際に紹介状を書くなど情報共有している		円滑な移行支援が出来るよう必要に応じて他機関との情報共有を行う
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	同上		同上
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて専門機関との連携や専門機関での研修受講を行っている。		今後必要に応じて専門機関との連携や研修の受講を検討する
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	行っていない	はい(6名)／どちらともいえない(3名)／いいえ(3名)／分からない(8名) ・特になくてもいいと思う。 ・いろいろな特性を持った子と関わることはできていると思う。	保護者の方からの希望があれば検討していく
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	行っていない		保護者の方からの希望があれば検討していく
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	保護者による送迎があることで保護者との細やかな連携を行っている	はい(20名)	今後も保護者の方に丁寧な説明を行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者へ事業所での子どもの様子を伝えながら支援計画を説明している	はい(20名)	支援計画の時には事業所での子どもの様子や保護者からの情報などを伝えながら説明を行う
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	プログラム化はしていないが日々の送迎時の保護者とのやり取りの中で家族支援を行っている	はい(15名)/いいえ(1名)/分からない(4名)	家での困りがある場合には職員で話し合い、より良い支援方法を見つけ伝えていく
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	お迎えの時にその日の様子や課題などを伝え情報を共有している	はい(18名)/どちらともいえない(1名)/未回答(1名)	保護者の方に子どもの状況や課題について共通理解を徹底していく
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	悩みや相談があった時にはその場で応えられる内容なのか、全職員で話し合ってから応える内容なのかを判断して助言している	はい(18名)/どちらともいえない(1名)/わからない(1名)	悩みや相談があった場合に様々な方法や適した対応が出来るよう職員の引き出しを増やせるように努める
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在行っていない	はい(5名)/どちらともいえない(3名)/いいえ(7名)/分からない(5名) ・特になくてもいいと思う。 ・保護者会は子どもの数が少ないので無いと思っている。	コロナ禍により実施は見送っているが、状況に応じて再開を予定している
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口については契約時に説明を行い第三者委員を立てている。ご指摘を頂いた時には迅速かつ丁寧な対応に努めている	はい(14名)/いいえ(1名)/分からない(5名)	苦情やご意見を頂いた際には迅速かつ丁寧に対応し職員間で共有、改善に努めていく
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	一人ひとりに合った伝え方を行っている	はい(19名)/分からない(1名)	一人ひとりに合った伝え方を行っていく
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月お便りを発行している	はい(19名)/どちらともいえない(1名) ・ホームページは特に見ていない。	今後もお便りの中で様々な情報を発信していく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン」を遵守し適切な取扱いに努めている	はい(19名)/分からない(1名)	個人情報に関しては十分な対応に努める
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	毎月訓練を実施しマニュアルを策定、保護者の方にもお伝えしている	はい(18名)/いいえ(1名)/分からない(1名)	様々なマニュアルの策定を行い職員や保護者への周知の徹底を行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月訓練を実施している	はい(15名)／どちらともいえない(1名)／ 分からない(4名) ・プールでの水難訓練をしてもらってとてもありがたかった。 ・聞いたことがない。	毎月訓練を実施し、万が一の災害に備える
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	研修を行っている		研修を行い虐待防止に努める
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束が必要となるケースについて、契約時や事前に説明を行い了承を得ている。また、身体拘束があった場合は保護者に対し報告を行う		今後も契約時や事前に説明と事後の報告を行う
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に食物アレルギーの有無などの用紙に記入して頂き提出をお願いし、聞き取りを行っている		今後も用紙に記入して頂き変更になった場合も再提出をお願いしていく
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎日療育後にミーティングを行い職員からヒヤリハットの確認を行い、事例集を作成し共有の徹底をしている		職員間でミーティングを行いヒヤリハットについて共有の徹底を行っていく